（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（木曽地域）

令和４年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	御嶽山を通して学ぶ地域教育事業
事業主体 （連絡先）	木曽町 長野県木曽郡木曽町三岳 6311 番地
事業区分	（3）教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	757,209 円（うち支援金：581,000 円）

事 業 内 容

御嶽山を地学という観点から学び、地域を舞台とした研究活動の面白さを感じてもらうため、御嶽山湯川地層及び千葉県市原市チバニアン地層の剥ぎ取り標本作成・展示に取り組んだ。また、学術に親しむ講演会やシンポジウムを開催した。

■地層剥ぎ取り作業　令和４年７月 18 日
剥ぎ取り標本製作（湯川地層）　７月 17～21 日
剥ぎ取り標本製作（チバニアン地層）８月８～10 日

■講演会シンポジウム（令和５年２月 21 日、３月 20 日）
「御嶽山チバニアンと御嶽山　～噴火がもたらした大発見～」
「学術振興と地域づくり　～学びが地域にもたらすもの～
in 御嶽山 VC」（合計 57 名参加）

【御嶽山湯川地層剥ぎ取り作業】

事 業 効 果

①VC でも大型の展示品を製作することができ、地学という敷居の高い分野であるものの、来館者の目を引く展示となった。(VC 内で特に印象に残った展示で４番目の人気)

②特に御嶽山火山マイスターや木曽青峰高校生に対し、地学を通し「火山である御嶽山」を伝えることができた。それに伴い、独自企画の取り組みも始まっている。
- 火山マイスター　調査・研究の成果発表として写真展を開催
- ビジターセンターを中心にした火山体験学習を計画中
- チバニアンを通した他地域人材との交流（千葉県市原市等）を目的とした視察研修を実施

③参加した高校生は御嶽山への興味・関心を深め、授業で取り組んだ御嶽山に関する研究活動へのモチベーションも高まった。
- 御嶽山防災意識調査を発表し、新聞にも大きく掲載される

④上記のような効果により、御嶽山を通して学ぶことへの関心が高まった。それに伴い、カリキュラムやイベントの実施が計画されている。
- 地震火山地質サマースクールの誘致

【目標・ねらい】

①御嶽山ビジターセンター展示品（地層剥ぎ取り標本）の製作
②御嶽山を知り、研究・調査する人材の育成
③火山ジュニアマイスターの高度教育化（中高生への火山教育）
④御嶽山を通した学術振興

※自己評価【 B 】

【理由】
展示品製作や講演会、シンポジウムの参加者満足度が高く、他地域との交流も図れたため。火山マイスターと地元高校の世代間交流にはお互いに良い影響となった。

今後の取り組み

御嶽山ビジターセンターが拠点となり、御嶽山火山マイスターと名古屋大火山研究施設の連携により、継続した取り組み（御嶽山に関する調査・研究や展示製作）につながることが期待できる。特に、地元高校生に参加していただいた成果は大きく、御嶽山を通して「学び・考える」ことに取り組むカリキュラムとして整備することが重要である。そのため、今後は主体的に取り組む組織に対し、支援を強化していく必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある